

この一年、「解字朝礼」、「漢字貼り」、「心のうた」など学習を子どもたちと共にしてきました。学習に対する子どもたちの受けとめ方はさまざまですが、心に残ることがいろいろあります。山東小の漢字教育に誇りをもっている児童がいること。「深切」は「親切」の誤りであろうと注意したところ「辞典にありました」ときっぱり言える児童がいたこと。国語の授業中、同じ「まく」でも水をまくの「まく」は手で水を散らすので手へんに散るの「撒く」で、種をまくのは、まいて時が経つと芽が出るので、草かんむりに時と書いた「蒔く」と発表してくれたこと等です。

漢字をじっと見て語意を考え出す、逆に言葉の意味から字形をみつけ出す学習態度は、他の学習にもつながってきます。そして発見する喜びが能動的な態度となってあらわれ、さらに学習をおし進めていくことをねがっています。

高学年の「解字朝礼」では、扱う漢字が児童にとって身近なものであり、解字の説明になるほどと納得し、わかり易く興味をもって学習できるということが大切です。そのためには教師の方が解字に精通し、幅広い国語力、語彙力を持つことが絶対の必要条件になると思います。児童の「解字朝礼」に臨む姿勢も、消極的なものから積極的なものとさまざまなので、取り上げる漢字をえらぶことから慎重でなければなりません。

「解字朝礼」について児童の受けとめ方には、朝礼のある日が楽しみだ、難しい漢字の方が面白い、朝礼の日をふやして欲しい、もっと長時間やって欲しい、また朝礼の場所が狭く多人数になるとさわがしくなる、など多様ですが、きわめて積極的でありました。

また「解字朝礼」のIダーをつとめ、「えらかった」ともらした児童がいましたが、誰もが一回は経験した方がいい、みんなが本気になって話を聞いたり、発表をしないと学習を進められない等、自信をもってき

ました。

「漢字貼り」についても、その意義が子ども自身にわかったようです。自分の手で漢字プリントを作って貼った方が勉強になる、漢字を貼るのに手間はかかるが漢字の方が読みよい、手紙を書くとき「漢字貼り」でおぼえた漢字が使えて楽しい等々、積極的な取り組みがみられました。反面、「漢字貼り」を何のためにやるのか理解していないため、負担に感じている児童もいました。今後も、子どもたちの声に耳を傾けながら、積極的に漢字学習に取り組もうと思っています。

1 漢字朝礼

漢字を構成する一つ一つの部品を手がかりにして、漢字のもつ意味を考えてみようと思います。その作業を通じて漢字の楽しさ、おもしろさを児童が感じてくれることを願っています。

さらに、児童の論理的思考を伸ばすためにも、毎週「解字朝礼」を行なうことにしました。朝礼で取りあげる漢字は、児童にとってできるだけ興味のあるもの、身近なもの、わかりやすく楽しいものを、と常に心がけ、くり返し学習することをモットーにしています。

国語の授業で、意味のわからない熟語や漢字に出会った時でも、部品を手がかりに考える習慣がつけばと思っています。

〔一学期〕5月20日 探(提出漢字)

T 見たことがあるね。これは何を表わすの？

探 (板書)

C てへん！

T そう、左側は、てへんを表わしている。では右側がわかる人は？

- C ……
 T 上の部分の「穴」がわかる人。
 C 「あな」という字。
 T 下の部分は？
 C 木！
 T 全体でこの字わかる人は？
 C 「タンケン」の「タン」。
 T そう、では訓読みがわかる人？

探 (板書)

- C さがす！
 T もう一つの読みは？
 C さぐる！
 T 「手」と「穴」と「木」が集まってどうして「さがす」になるか、何か思いついた人。手を挙げて！
 C ……
 T 穴の中を手にも木を持って何か探している。手で穴をさぐる。木で穴の深さをはかる。「■」のつく字はこんなのがあります。

探偵団 探検 探険 (板書)

- C タンテイダン。タンケン。タンケン。
 T 「探検」は、検査、調査のため探検する。「探険」は険しい冒険をするときに使うね。もうほかにないかね？
 C 先生、辞典で調べます。
 T そう、「探求」するとか、「探索」するとか。では、板書した漢字と一緒に読んでみよう。

5月27日 深(提出漢字)

- T 先週の漢字を憶えている人は？
 C さがす。さぐる。
 T 音読みでは？
 C タン！
 T 今日は左側がさんずいの漢字です。

深 (板書)

- C ふかい。
 T 他に知っている人？
 C シン！
 T この字がどうして「深い」になるのかな？

深 手さぐり (板書)

- C 海を掘っていくと深くなる。
 T 「掘る」というのはどの字から考えたの？
 C 木でどの位深いか調べる。
 T 深さを調べてみる時、木でさぐる、手さぐりするでしょう。底がどこまでか、さぐってみるということから「深い」になっている。「深」を使った熟語は？
 C 深海。
 C 深酒。
 T あまり聞かない熟語だが、後で調べてみよう。
 その他、児童から、深夜、深海魚、水深、深度、深切、深底などの熟語が出されたので、いっせいに読ませました。

6月3日 木 本 未 末(提出漢字)

T 漢字だと何かな？

 (板書)


C 木かな。

T もっとくわしく書こう。

 (板書)

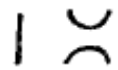
C 木だと思います。

T 漢字で書くと「木」です。こうなります。

 (板書)


C 「米」だと思った。

T 分解すると何になるかな？

 (板書)




C 幹と枝です。

T この下向きのは何？

 (板書)

C 根だと思います。

T 横棒を木につけるとどうなる？

  →  (板書)




C 「本」になる。

C 「モト」です。

T 木の細いところはどこ？

C 一番てっぺんの方です。

T てっぺんに横棒をつけるとどんな字になるかな？

 →  →  (板瀧)

C 未来の「未」です。

T もっと長い横棒だと？

C 「末」です。

T 読み方だけでなく意味も考えてほしい。

6月17日 木 本 末(提出漢字)

T 前回の勉強はどんな勉強だったかな？

C 「木」という字の幹の方へ印をつけたり、先の方へ印をつけたりしました。

T 字の形とその字の意味との間につながりがあるのがわかりますか？

 →   →  (板書)

C 「本」(もと)は木の根元で太いから。

T 「末」(すえ)はどうしてですか？

C ……

T 熟語を作ってみるとわかるかもしれないね。

C 期末、末日、週末、月末、年末、末子、末吉、末尾、後始末。

T 関連づけて、意味が説明できる人は？

C 「最後」という意味。

C 「終わり」という意味です。

C 「本」という字の枝の一番最後の方に印をつけたから。

T はしっこの方ですね。

C 細い！

T 細くて小さいという意味の熟語を知っている人は？

C ……

T 「粉末」ですね。

——児童の感想——

「末」という字の意味を今まであまり考えてはいなかったが、「終わり」という意味がよくわかった。

6月24日 本 末(提出漢字)

T 「本」を使って熟語作りをしましょう。

C 日本、本気、二本、本来、本根。

T まだありますね。「ホンネ」というのは自分の本当の気持ちのことで、「本音」です。

C 本箱、本葉、本店、本当、本名、本場、本枝、本部。

T こんどは「末」とよく似た字。

C 未来の「末」です。

T 意味はどうですか？

C ……

T 熟語を先に作ってみよう。

C 未来、未知、未完成。

T 「未完成」の意味は？

C まだ完成していない。

C 未満、未成年、未亡人。

T 「未」の意味は？

C まだわからない。

C 先のこと。

T 意味は「まだ……でない」ということです。

7月8日 解(提出漢字)

「角」「刀」「牛」でどういう意味になるのか、なかなかわかりにくかったようです。子どもから出た熟語も「正解」「解答」とわずかしか出ませんでした。身近な字だと考えていたのですが、生活の中ではあまり使われていないのかと意外でした。

——一学期の反省——

児童自らが提示してきた漢字や、教師の発問から、解字を真剣に考えてくれるようにと願っていましたが、もう一步というところでした。また一人の発言が全体に広がって行って、全員が納得できる「漢字朝礼」にしたいと考えていたのですが、一部の子どもの発表で終わったように思われます。このことからいつも同じ形式で朝礼を行なうのではなくて、いろいろな方法を考えていかなければならないと考えさせられました。また児童が朝礼の中で進んで思考する状況を作ってやることも大切です。

(二学期)9月9日 清 精 晴(提出漢字)

T これらの漢字を見て気づくことはありませんか？

清 精 晴 ……(表音)声 (板書)
 ……(表意)形

C どの字にも「青」という漢字がついている。どの漢字も「セイ」と読みます。

T 新たな発見はないですか？

C どの字も「青」という字がついていて、みんなその字をとって音読みは「セイ」です。

T では、その「青」はこの漢字のどっち側にありますか？

C 右側にあります。

C 「つくり」です。

T 「つくり」は何を表わしていますか？ ……これは音を表わしていますね。だから「表音」。左側は何を表わしていますか？

C 意味を表わしています。

T 何と言いますか？

C 表訓！

C 表語！

T 表音ですね。

では、「清」の左側は何を表わしていますか？

氵 (板書)

C 水です。

T これは？

米 (板書)

C 「こめ」です。

T では、これは？

日 (板書)

C 「ひ」です。

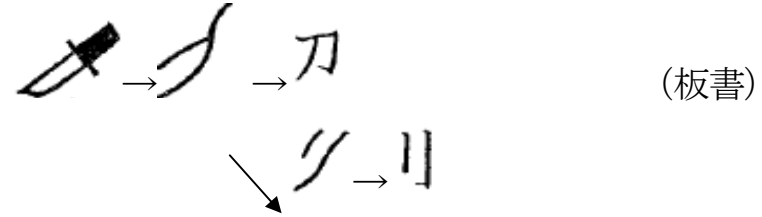
T こういう字を形声文字といいます。形声文字は漢字全体の中でどれくらいあるだろう？

C 53 パーセント！

T もっとずっと多くて 90 パーセントもあります。

10月24日 刀(提出漢字)

T 今日はカタナを書こう。これが立ち上がった形になると。

 (板書)

C 「立刀」です。

T 意味は刀だね。点がつくと何と読むかな？

C 刃(は)！

T 刀の先には刃がついていると考えるといいね。では、刀のつく字は。

切 昭 招 刃 初 (板書)

C 「切る」、昭和の「昭」、「招く」、「刃」。

T みんな「刀」があるが、こんどは「初」を考えてみよう。音読み、わかる人？

C ショ！

T 訓読みは？

C はつ。はじめ。

T 偏は何か？

C 衣偏です。

T どういう意味かな？

C 着る物。

T 着物と刀とで、どうして「はじめ」という意味になるのかな？

C 着物を作るには、はじめ、刃物で切るからです。

T 「前」には「彳」があるね。「月」は何だと思おう？

刀 → 止 → 止 → 立

刀 → リ

(板書)

前 舟 → 月

月

肉

C 肉づき。

C 「月」と「舟」。

T 「彳」は何を表わしているかな？

C 足の裏を形どった「止」が変化したものなので、止まる。

T 「止」「舟」「刀」の三つで、なぜ「前」になるの？ 来週聞くから考えておくように。

11月25日 前 貧(提出漢字)

T 前に勉強したことは？

C 「刀」です。

T 旁では？ 思い出した人？

C ……

T 今日はずづきの「前」だな。「前」を分解すると、「刀」の部分は何れ

かな？ それから「月」はどんな意味になるの？

C 「舟」です。

T 「月」と「舟」と「肉」の三種類あるのだから？

C 「肉づき」です。

T 「刀」と「舟」と、上の部分。これはどんな意味かな？

C 「足」です。

T 足という場合と足から変化して「止まる」になる。止まっている舟をつないでいるものを刃物で切ると前へ進む。もう一つ「刀」のついた字を考えてみよう。

貧 (板書)

T 何と読むのかな？

C まずしい。

T 音読みは？

C ビン！

T もう一つ。

C ヒン！

T 「分」と「貝」で「貧しい」になるわけわかるひと？

C ……

T 「貝」の意味は？

C お金です。

T そう、お金とか財産だね。全体の意味は？

C 自分のお金を分けてやったので貧しくなったのだと思います。

T それでは「貧」を使った熟語を調べておいて下さい。

12月2日 分 粉 紛(提出漢字)

T 先週勉強した漢字は「前」と「分」ですね。今週は「分」をくわしくやります。これを使った漢字は？

C 貧しい！

T 音読みでは？

C ヒン。ビン。

T 自分のお金を分けてあげたので貧しくなった。では、熟語を考えてきた人。

C 貧乏！

T 「乏」という字知っている？

C 「乏しい」という読み方もあります。

T 全校朝礼の時、倒れる人がいるね。病気が原因だね。

C ヒンケツ(貧血)！

C ヒンミン(貧民)！

T 「ミン」という字は？

C 「臣民」の「民」。

T そうですね、では。

貧弱 (板書)

C ヒンジャク！

T こんな熟語もあるよ。

貧困 (板書)

C ヒンコン！

T そうですね。今日は「分」の使われている漢字で「粉」をやります。まず音読みは？

C フン。

T 訓読みは？

C こな。こ。

T 「米」と「分ける」と合わさって「粉」になるが、どう考えたらいいい？

C ……

T 米を刀で小さく分ける。他には？

C 米を刃物でつぶす。

T 刃物でつぶしてより分けて出てきたものが粉でしょう？

C 粉末、花粉。

T 「糸」と「分」が一緒になってどんな意味になるか考えてみよう。

C 糸を刀で切って分ける。

C つけ加えて糸を刀で分けて使う。

T 分けて使うまでのところに意味がある。ヒントをあげます。分けねばならない状態というのは糸は使えるかな。もつれて使えない状態になっている。糸がもつれているのをより分けようとしている状態。そういう状態を意味する字で、「まぎれる」と読む。財布がどこに行ったかわからなくなった状態の熟語がある。どんな字があるかな？

C 紛失！

T それでは、「分」について整理してみよう。

貧 (まずしい) 貧 貧 貧 貧 貧
乏 血 民 弱 困

分ける—粉 (こな) 花 粉 黄 小 蛹
粉 末 粉 麦 粉 粉 (板書)

紛まぎれる 紛失

12月9日<児童による漢字朝礼>易 皮(提出漢字)

「司」は司会の児童

司 この字の成り立ちはどんな字になったか知っているひと?

(板書)

C 「幼児」の「見」だと思います。

司 これでわかったひと?

(板書)

C 貿易の「易」です。

司 どちらが正しいと思いますか?

C 「易」です。

司 はい、そうです。音読みを知っている人はいますか? 「エキ」というのは音読みですか?

C 音読みです。

司 訓読みを知っているひとはいますか?

C 「やすい」です。

司 もう一つの訓読みを知っているひと?

C ……

司 正解は「やさしい」です。(カードを出す)

(カード)

司 この字の熟語を知っているひとは?

C 易者、貿易。

T 他に「容易」があります。

司 次の漢字にうつります。(カードを順々に出していく)わかるひと?

(カード)

司 正解は「皮」です。音読み、訓読みを知っているひと?

C 音読みは「ヒ」です。訓読みは「かわ」です。

司 熟語を知っているひと?

C 「皮膚」です。

司 意味を知りませんか?

C 手で皮をはぐことだと思います。

12月16日<児童による漢字朝礼>(つづき)

司 皮のつく熟語はありましたか? 「皮膚」は出ましたが。(OHPで) 皮膚 毛皮 皮肉 皮相 皮膜 皮毛

司 「皮」のつく漢字を知りませんか? (OHPで)

彼 疲 被 炮 皴 皸 皹 披 波 跛 波 簸 破

司 「疲」は、ヒロウの「ヒ」です。訓読みでは「つかれる」です。

(OHPで)読み音「ヒ」訓「つかれる」

司 熟語は？

C 疲労。

C 疲困。

司 「疲困」の読み方のわかるひと？

C ヒコン！

司 「疲」のつく熟語が他にありますか？ (OHPで)

疲労→くたびれる つかれる

疲乏→つかれきる 弱る

疲困→つかれくるしむ つかれはてる

疲兵→つかれた兵隊

——児童の感想——

私は司会をしたけれど、みんなが、わかっているけども答えを言ってくれなかったりして、漢字朝礼も進めにくくて困ったから、もっとはっきりしてほしかったです。

聞く態度も悪くて、私達が質問などをした時、考えてくれている人も、ちゃんといたけど、聞かない人は、となりの人と話をしていたり、わるさをしていたり、よそ見をしていたりして、どちらかという、聞いてくれない人が多くて、いくら一生けん命やっても聞いてくれなくて、やる気がしなくなったので、もうちょっと、態度をよくしてほしいです。それに聞いてもらえないのは、つまらないから、私達ももっと、みんなに聞心をもってもらえる漢字朝礼にしたいと思いました。

先生の苦労が、わかったような気がします。

[三学期]2月3日<児童による漢字朝礼> 復(提出漢字)

司 これは何という字ですか？

𠄎 (板書)

C 道路の「路」だと思います。

C 復習の「復」だと思います。

司 どうしてですか？

C 足があるからです。

司 答は「復」です。

𠄎 ←段を登ってまたおりる (板書)

←十字路の半分

司 このように変わりました。どうして道路と足とで「復」になるのですか？

C ……

司 それではこれは宿題です。次にこの漢字の意味がわかるひとは？

C ……

司 読みがわかるひとは？

C 「フク」です。

司 熟語は？

C 復習、往復、復元、復活。

司 熟語から意味がわかりませんか？「復習」の意味は？

C もう一度くり返すこと。

T もう一度くり返すというのは何をくり返すことですか？

C 習ったこと！

司 「往復」はどういう意味ですか？

C 行ってまた帰る。

司 「復元」はどういう意味ですか？

C もとにもどす。

T 意味がわかってきたでしょう？

C 「くり返す」です。

2月10日 採 盗(提出漢字)

T 今日の漢字は「とる」。どういう漢字が思い浮かんだ？

C 手に取る。

T これが浮かんだひと？

取る (板書)

C (大多数、挙手)前に「盗る」というのを本で見たことがある。

T 見たことあるひと？

C (少数、挙手)

T もう一つ、先生が調べたのがあります。

採る (板書)

C (数名「採取」とつぶやく)

T 「取」の音読みは？

C シュ！

T 「採」の音読みは？

C サイ！

T これも読みはいっしょだけど意味がちがうので使い分けなければいけません。どんな場合に使いますか？

盗る (板書)

C ぬすむ。こっそり取る時に使います。

T では、「取る」と「採る」の意味の違いを考えよう。

C 昔、中国では戦いに勝った者が相手の耳をとったので「取る」ができた、そんな話を聞いたことがあります。

T 「又」は手だね。中国では勝った印にしました。日本では首を切って証拠にした。それでは「採る」がわかるひと？「オ」これは手でしょう？

C 植物の実を手でとる。

T 「采」は手と手で受けとる。手で木になっている実をとる。「採」は手でとる。「取」は切りとる。では、昆虫をとる場合、どちらの漢字がいいかな？

C 採る！

T 昆虫をとるときの熟語は？

C 採集！

T 新聞の記事を切りとるの「とる」は？

C 取るの方。

T きのことりの場合はどっち？

C 「採」の方！

T 会社の入社試験で採用になる、選ばれてはいる。これは？

C 採用！

T これ、読めるひと？

取材 (板書)

C シュザイ！

T 「取」や「採」を使った熟語はこれ以外にもあるので辞典で調べておいて下さい。

C (板書を読む。)

採用
|
選ぶ②
←手
でとる①
|
採る

取材
|
自分のものにする②
←取
る①
|
切りとる①

(板書)

2月17日

T 先週扱った漢字は？

C 「とる」です。

T どういう意味でしたか？

C 昆虫採集のときの「採」で、手にとる。

C 木についているのをとる。

T それから「選ぶ」という意味にもなるということだったね。じゃあ、これは？

取 (板書)

C 切りとる。

T 先週、宿題の熟語は？

C 取材、鳥取県、採点、採用、探知、採集。

T では読んでろよう。

C (一斉に読む)

T それでは、これから「漢字しりとり」をします。「用」を使って熟語を作ってください。

C 用件。

T 「件」を使った熟語は？

C ……

T ないときは「用」を使って。

C 用事。

T では、こういうようにして、「砂」「点」「集」「県」「材」を使ったしりとり熟語を五つ作ってください。

紙片を配り書かせる。四つ以上できた人に板書させ、それをみんなで一斉に読ませました。

3月3日 撒く 蒔く 賀(提出漢字)

T 今日は「なぞなぞ遊び」をします。まいてもまいても生えないものなあに？ どういう字でしょう。

まく 撒く 蒔く (板書)

C くさかんむりに「時」です。

C てへんに「散る」です。

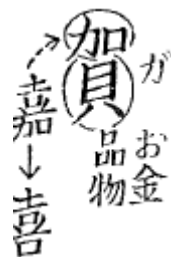
C てへんがあるから手で水を散らす。

C 「蒔く」は「種をまく」です。

T どうしてですか？

C 稲をまいて時間がたてば芽が出ます。

T では次に、卒業も真近なので、この字を勉強します。何と読みますか？



(板書)

- C 「ガ」です。
- T ある字とある字が組み合わさっているね。
- C 「加える」と「貝」です。
- T 「加」は「嘉」ですが、「嘉」のどこをとっていますか？
- C 「加」です。
- T 二つ結びつけてどういう意味になりますか？
- C お金や品物をあげて、よろこんでもらう。
- T お金や品物をもらわなくても、気持ちで卒業生を祝ってやって下さいね。

——1年をふり返って——

五月から「解学朝礼」を始めて一年が過ぎました。毎週、どんな漢字を提示しようかと思いつつ、朝礼が終るたびに今日の反応はもう一つだった、今日は子どもの目が生き生きしてたと、一喜一憂の日々でした。

やはり、漢字を教師自らが好きになること、漢字について研修すること、また指導の方法を工夫することを痛感しました。あまり欲を出さず、一つでも漢字を覚えてくれればと願いながら、くり返しくり返し提出することを心がけて、今後も漢字指導に精進するつもりです。

2 心のうた

学習委員会を中心にして行なった児童朝礼の際、高学年になると朗読の声が小さくなることを多くの児童が反省しています。その原因として、消極的な態度と、学級での練習が不十分なことがあげられます。中には、自分は何のために「心のうた」をうたったり、暗唱したりするのか、その意義を認識していない子どもも少なくありません。学習委員はもとより、「心のうた」の意義をとらえてがんばっている児童を中心に、積極的に取り組む学級づくりに努める必要があります。また、出東小を卒業した中学生や高校生の追跡調査を行ない「心のうた」の推進に役立てることも考えています。次に掲げるのは「心のうた」に一所懸命取り組んでいる子どもの感想文です。意欲的に学習に取り組む姿勢づくりに役立てばと思います。

私は心の歌がすきです。それは、この心の歌には詩や俳句を作った人それぞれの気持ちが、すなおに表現されているものや、まわりの様子がうたう人の頭にうかんでくるようにかかっているものなどいろいろあります。この心の歌を覚えたり、となえたりすることによって、いつかどこかで、自分のために参考になったりすると思うからです。

私は、心の歌の中で、とくに、草野心平さんの「春の歌」がすきです。これは、このあいだ、音楽クラブの人が、作曲されたものです。これをうたったり、となえたりすると、もうすぐ春なんだと、強く心にひびいてくるからすきです。

もっと他にも沢山の詩や俳句に、関心もちたいと思います。(K・S)

3 漢字貼り

「漢字貼り」をさせると、どの子どももみんな懸命に取り組むのですが、貼るのに要する時間がまちまちで、最後に貼り終わる子どもを待つと一時間を費してしまうことがあります。貼る時間の個人差や、貼りながら文章の内容をどの程度読みとれているのかを明らかにするために実際に調査しました。

学習箇所「サリバン先生との出会い」 貼付する漢字数 48 字。

所要時間 15 分以内 16～20 分 21～25 分 26～30 分 31～35 分

男子 6% 29% 41% 12% 12%

女子 20% 54% 13% 13% 0%

漢字貼りをしながら本文の内容がつかめたのは、男子 17 パーセント、女子 40 パーセントでした。

——漢字貼りについての児童の声——

- ・ 貼るのは面倒だが貼ってしまうと漢字の方が読みよい。
- ・ 漢字貼りをしている学校は、日本でも自分たちの学校だけだということに誇りを感じている。
- ・ 他の学校の人に本を見せて、いばったことがある。
- ・ 手紙を書く時、漢字貼りでおぼえた字を使えて楽しい。読書の時、すらすら読めて助かる。
- ・ 自分で漢字を調べて貼るようにしたい。
- ・ ふりがなは最初の漢字だけでよい。
- ・ 行を頁が変わるごとに変えてほしい。
- ・ 漢字貼りは家でやってもいいのではないか。
- ・ 止めた方がいい。

- ・ 貼るところと貼らないところがあるのはなぜか。
- ・ 読む力がないので難しい字は止めてほしい。
- ・ 漢字貼りはやりたい人だけやればいい。

女子の多くは漢字貼りが自分たちにとって役に立つと考えているのに対し、男子の中には面倒だから止めてほしいと考えるものがあるようです。適格ご指導をして、解決をはかりたいと考えています。

(担当 多久和昭治・安田秀晋)